

「あすかく」についての詳細はこちらをご覧ください



保護者との信頼関係づくりにも「あすかく」が活躍

「あすかく」で自信が付き 生徒の学ぶ意欲が育まれる



わかば教育セミナー 主任講師 臼井 みどり さん

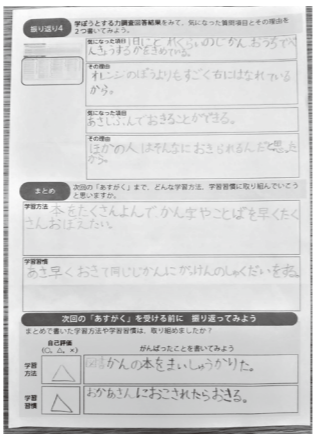
株式会社文理は、新学習指導要領施行を見据え、2018年から「思考力・判断力・表現力」を診断するアセスメント「明日の学力」診断（「あすかく」）を年間2回実施している。わかば教育セミナー（主任講師・臼井みどりさん）（兵庫県）では、この「あすかく」を活用し、生徒の学習意欲の向上や、保護者とのコミュニケーションに役立てている。「難しいけれど、楽しい」と話す生徒の様子も紹介する。

「あすかく」を導入してよかった点を教えてください。
わかば教育セミナー（以下、わかば）保護者の方と具体的な話ができるようになったことが一番ですね。「うちの子は国語が苦手で、読解力がないんです。読解力がないと他教科の問題も読めないですよ」と相談される方が多いのですが、「あすかく」の結果資料を見ながら、どのような読み取りが苦手なのか具体的に話ができるようになりました。
保護者の方の「あすかく」に対する感想は？
わかば 今回アンケートを取らせていただいたのですが、「学校のテストの問題に興味を持てるようになった」という声が多かったです。これまではテストの点数や成績を見ていただけだったのが、従来のテスト問題とは違う「あすかく」の問題に触れたことで、学校のテストの見方が変わったようです。
保護者の方に「あすかく」を受ける必要性をどう説明されていますか？
わかば 2021年に中学校の新学習指導要領が実施され、「これからは思考力や判断力、表現力が評価されるようになります」と説明すると、ほとんどの保護者の方は「あすかく」の必要性をすぐに理解していただけます。
当塾では、年間予定の中に「あすかく」を組み入れています。
点数が伸びない生徒への指導で、配慮していることは？
わかば よくほめるようにしています。とても真面目で、解けない問題

があると先に進めない生徒がいて、初めて「あすかく」を受けた時、半分も進めることができなかったんです。でも、返却された成績表には「きちんとした性格で丁寧」という評価があったので、「これがあなたの良いところだね」と伝えました。次のテストでは「次の問題に進んでいいか」と、私に聞きながら全問取り組めるようになっていました。個別の指導では生徒一人ひとりの性格を認めることが大事ですが、「あすかく」を利用するとそれが可能になります。
「あすかく」の結果と学校の成績との関連はありますか？
わかば 学校の成績が良い生徒と、もう少し頑張ろうという生徒の結果が、「あすかく」では同じくらい、ということがあります。真面目で柔軟な考え方を持つのが苦手な生徒が、結果につながらないようなイメージがあります。答えが明確にわかる問題は自信を持って解答するけれども、初めて接する正解がひとつではないタイプの問題に関しては、「これで合っているのかな」と不安になる。それだけだんだんと経験するうちに、解答できるようにになってきていると思います。また、学校の成績の良い生徒のなかにも「あすかく」のように、様々な分野の知識を使い、判断材料を見つけないと解けない問題が苦手な生徒がいます。自分だけの知識を取り出せばいいのかもしれないという力で「あすかく」では、そうした力を身につけられると思います。

「あすかく」の成績帳票はどのように返却していますか？
わかば 当塾では、2段階のフィードバックをしています。「あすかく」の成績帳票・添削答案はともども丁寧でいろいろなお話がわかるものになっていて、1回返却しただけではもったいないからです。まず、第1段階として、成績帳票を用いて、子どもたちにコメントしながら返却します。
そして、第2段階は、「あすかく」専用の振り返りシートを使います。振り返りシートは、学習環境を考えた上で成績帳票ともうまくマッチするので、効率よく使っています。
この振り返りシートは宿題にしています。子どもたちは興味をもって取り組んでくれて、自分の良かったところや頑張りたいところをしっかりと書いてきてくれます。学年や性格によっては、おうちの人も話しながら作成してもらったこともあります。これがまた、頑張っていることや学んでいることを保護者と共有できるので、とても良いのです。
本人もしくは保護者と相談して作成した振り返りシートをつかかって、頑張ったところや長所を確認して、次回「あすかく」までの「学びの目標」として共有していきます。
この取り組みは、新しい学習指導要領の「学びに向かう力」にも合致します。自ら学び方を考えて成長していくってほしいと思っています。
「あすかく」は生徒・保護者にはどんなメリットがあると考えますか？
わかば 保護者の方と具体的な話が

しやすくなったことで、ご家庭も塾に協力していただけるようになりました。
「あすかく」には「学ぶ力・学んだ力」を調査するテストと、「学ぼうとする力」を調査する、学習意欲や学習習慣についてのアンケートがあります。この「学ぼうとする力」のアンケートがきっかけとなり、保護者の方がお子さんに「何かチャレンジしてみたら」と声がけをしていただけたり、宿題が全然できなかった生徒が、保護者の方と協力してできるようになったりしました。



「あすかく」の振り返りシートは、学習環境を考える上で成績帳票ともうまくマッチし、非常に効率よく使えます

高校受験において「あすかく」が役立つ部分はどこでしょうか。
わかば 兵庫県の高校入試問題は読解力がないと解答することが難しいです。特に理科は、設問自体はそれほど難しいわけではないのですが、問題文が長いので、読み取るのに苦労する生徒が多いと思います。その点、「あすかく」で培った読解力や知識の活用力が生きてくると思えます。

他に役に立っていることはありますか？
わかば 週に一度、長い文章や資料を読み解いて、自分の考えを記述する授業を行なっています。この時に「あすかく」の過去問を使用させていただいています。学年の区別をせず授業をしていて、小学生と中学生が同じ問題に取り組めます。
あと「あすかく」を実施して

「あすかく」では、次の学びへ向かうためのこのアドバイスを大切にしたいと考えています。
児童・生徒が次のステージに上がるためには、目の前の課題と基礎的な課題の両方をクリアすることが必要です。目の前の課題とは、解けなかった（間違えた）問題を解けるようになるために必要な学力・考え方を身につけることです。つまり、今足りていない学力を身につけることです。
もう一つの基礎的な課題とは、児童・生徒の学習方略、つまり、学習に向かう姿勢である習慣・方法・自己評価などができているかどうかです。この課題を正確に把握して「見える化」し、アップデートしてあげることが重要です。そのためには、指導者による適切な道案内が必要になります。学習方略をおろそかにしてしまうと、子どもたちは、表面的には理解しているように見えますが、学習の基礎が身につかないまま、次の学年に進むことになります。
学力を伸ばしたいけれども、「思うように学びが進まない」「なかなか学

「あすかく」を導き入れてよかったです。保護者の方と具体的な話ができるようになったことが一番ですね。「うちの子は国語が苦手で、読解力がないんです。読解力がないと他教科の問題も読めないですよ」と相談される方が多いのですが、「あすかく」の結果資料を見ながら、どのような読み取りが苦手なのか具体的に話ができるようになりました。
保護者の方の「あすかく」に対する感想は？
わかば 今回アンケートを取らせていただいたのですが、「学校のテストの問題に興味を持てるようになった」という声が多かったです。これまではテストの点数や成績を見ていただけだったのが、従来のテスト問題とは違う「あすかく」の問題に触れたことで、学校のテストの見方が変わったようです。
保護者の方に「あすかく」を受ける必要性をどう説明されていますか？
わかば 2021年に中学校の新学習指導要領が実施され、「これからは思考力や判断力、表現力が評価されるようになります」と説明すると、ほとんどの保護者の方は「あすかく」の必要性をすぐに理解していただけます。
当塾では、年間予定の中に「あすかく」を組み入れています。
点数が伸びない生徒への指導で、配慮していることは？
わかば よくほめるようにしています。とても真面目で、解けない問題

「あすかく」では、次の学びへ向かうためのこのアドバイスを大切にしたいと考えています。
児童・生徒が次のステージに上がるためには、目の前の課題と基礎的な課題の両方をクリアすることが必要です。目の前の課題とは、解けなかった（間違えた）問題を解けるようになるために必要な学力・考え方を身につけることです。つまり、今足りていない学力を身につけることです。
もう一つの基礎的な課題とは、児童・生徒の学習方略、つまり、学習に向かう姿勢である習慣・方法・自己評価などができているかどうかです。この課題を正確に把握して「見える化」し、アップデートしてあげることが重要です。そのためには、指導者による適切な道案内が必要になります。学習方略をおろそかにしてしまうと、子どもたちは、表面的には理解しているように見えますが、学習の基礎が身につかないまま、次の学年に進むことになります。
学力を伸ばしたいけれども、「思うように学びが進まない」「なかなか学

「あすかく」では、次の学びへ向かうためのこのアドバイスを大切にしたいと考えています。
児童・生徒が次のステージに上がるためには、目の前の課題と基礎的な課題の両方をクリアすることが必要です。目の前の課題とは、解けなかった（間違えた）問題を解けるようになるために必要な学力・考え方を身につけることです。つまり、今足りていない学力を身につけることです。
もう一つの基礎的な課題とは、児童・生徒の学習方略、つまり、学習に向かう姿勢である習慣・方法・自己評価などができているかどうかです。この課題を正確に把握して「見える化」し、アップデートしてあげることが重要です。そのためには、指導者による適切な道案内が必要になります。学習方略をおろそかにしてしまうと、子どもたちは、表面的には理解しているように見えますが、学習の基礎が身につかないまま、次の学年に進むことになります。
学力を伸ばしたいけれども、「思うように学びが進まない」「なかなか学

「明日の学力」診断 2021年度秋実施の予定

	申込期間	問題発送日	実施推奨日	事前受検可能期間	答案必着日	結果資料web閲覧開始日
秋	前半	10/4(月)~10/17(日)	10/26(火)	11/14(日)	10/30(土)~11/17(水)	11/29(月)
		10/18(月)~10/28(木)	11/9(火)			
	後半	10/29(金)~11/11(木)	11/22(月)	12/5(日)	11/27(土)~12/8(水)	12/18(土)

*2022年度も小1~中2対象で、年2回(春・秋)実施いたします。

「あすかく」についての問い合わせ:教育アライアンスネットワーク(NEA)事務局 (メール)info@n-ea.jp (電話)03-6431-1311 (Web)https://www.n-ea.jp/ 担当:千代延(ちよのぶ),相原(あいはら),柳(やなぎ)